



# 草の根金融研究所「くさのいち」ご案内

ご相談は メール:taga@e-mail.jp 電話:080-1142-3783

## ごあいさつ



2016年4月、私こと多賀俊二が「草の根金融」の普及・発展に取り組むべく、独立開業してから、1年が経過しました。

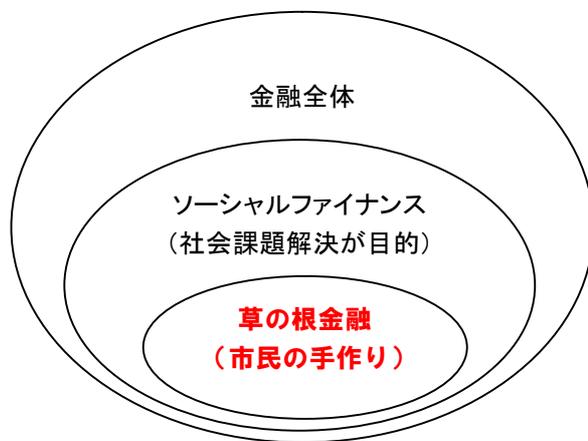
独立後は短大で非常勤講師の機会をいただき、「経営革新等認定支援機関」取得のための能力開発にも取り組むなど、充実した時間を過ごすことができました。これからは、ソーシャルファイナンスを主領域とする金融コンサルタントとして、自主セミナーの開催や関係各方面との連携など、精力的に事業開発に取り組む所存です。また、「くさのいち」は現時点では個人事業主である多賀の商号ですが、多くの方々が参加できる公器とするため、2017年中に法人化を目指します。

ここまでたどり着けたのも、多くの方々のご支援あってのことです。今後も「くさのいち」のミッション・ビジョンを実現するため、粉骨砕身努力いたしますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2017年5月  
草の根金融研究所「くさのいち」代表 多賀俊二

## 「草の根金融」とは

### 草の根金融の概念図



### 定義：

「社会課題を解決するため、一般の人が金融機関に頼らずに行う手作り金融の営み」

### 具体例：

人々の出資をもとに、ソーシャルビジネスなどにお金を貸す「**NP Oバンク**」

多重債務者等、生活困窮者に家計相談とセットで自立のための資金を貸す「**生活再生ローン**」

ソーシャルビジネスのために仲間からお金を借りる「**市民債券**」

ソーシャルビジネスのために仲間から出資を集める「**(出資型) 市民ファンド**」

その他(ソーシャルインパクトボンド、クラウドファンディング等)

## 「くさのいち」のミッション・ビジョン

### ミッション：

「経済・金融を草の根の人々本位につくりかえ、社会課題を解決する」

### ビジョン：

- ① 草の根金融の活用を推進する
- ② 資金調達等の支援を通じ、ソーシャルビジネスの発展を支援する

「くさのいち」名称の由来:草の根の人々と共に歩む意思を表現するため、漢語・造語・横文字を避け、ふんわりしたイメージの名称にした。

## 多賀俊二のプロフィール



草の根金融(社会課題を解決するため、一般の人が金融機関に頼らずに行う手作り金融の営み)を専門とする金融コンサルタント。中小企業診断士(東京協会三多摩支部所属)、准認定ファンドレイザー、貸金業務取扱主任者。

早稲田大学ファイナンス研究科専門職学位課程修了(ファイナンス修士)。

広島出身の51歳。金融機関の業界団体での25年間の勤務を経て、2016年4月独立。2005年より全国NPOバンク連絡会の事務局(2010年7月より常任理事)を務める等、長期にわたってソーシャルファイナンスの frontline で活動。NPO界最大級のイベント「ファンドレイジング・日本」に3年連続登壇(2013-2015年)し、金融専門誌に執筆する等、ソーシャルファイナンスに関する講演・執筆・支援等の実績多数。静岡英和学院大学短期大学部非常勤講師(2016年4~7月、「地域金融論」)。

最近の講演:「日本におけるソーシャルファイナンス手法」(2016年7月23日、第2回ソーシャル・ファイナンス研究会)

近著(共著):

『『地方創生』でまちは活性化する』(2015年、同友館、編著者:小林勇治・波形克彦、3章3節「CSA(地域支援型農業)を目指す『東北食べる通信』(岩手)」を担当)

『地方創生とエネルギーミックスーエコシティ、スマートシティの活用事例』(2016年、同友館、編著者:波形克彦・小林勇治、第5章「地域のエネルギーミックス 市民発電事業の進め方」を担当)

## 「くさのーね」の事業体系

事業名	想定する顧客	概要
<b>研究開発事業</b>	草の根金融に関心のある人々、研究者、実務者等	<b>草の根金融の可能性を探る研究活動を行う。</b> 具体例: 全国の草の根金融の担い手に対する取材、草の根金融に対して先進的な経験・研究・情報を持った人によるセミナー開催、研究成果をもとにした草の根金融に関する新事業開発等
<b>認知拡大事業</b>	草の根金融に関心はあるけどなんだかよくわからない人	<b>草の根金融の認知とネットワークを拡大する。</b> 具体例: 初心者向けセミナー(例:「草の根金融基本の『き』」、「ソーシャルなあなたのための金融入門」等)、各地での車座集会、交流カフェサロン等
<b>担い手・支援者拡大事業</b>	草の根金融を事業として取り組みたい人、草の根金融を支援したい人	<b>草の根金融の事業立ち上げを支え、支援者拡大を図る。</b> 具体例: 草の根金融の事業化セミナー(例:「NPOバンクの作り方1日セミナー」、「市民ファンド業者にはこうしてなれる」等)、草の根金融事業に関する起業家への伴走支援、草の根金融支援者のための会員制情報提供等
<b>利用拡大事業</b>	草の根金融等による資金調達ニーズを持つNPO・ソーシャルビジネス事業者等	<b>草の根金融等によるNPO・ソーシャルビジネスの資金調達を支援する。</b> 具体例: 草の根金融活用セミナー(例:「市民債券でおカネを借りる」、「ソーシャルビジネスの資金調達が全部わかる講座」等)、NPO・ソーシャルビジネスへの資金調達に関する相談、コンサルティング等
<b>担い手支援事業</b>	草の根金融の担い手(NPOバンク・市民ファンド事業者等)	<b>草の根金融の担い手を側面から支援する。</b> 具体例: 草の根金融を円滑化ための制度づくりに関する政策提言と政府等への働きかけ、草の根金融の業界団体の事務局業務、草の根金融事業者に対する客員スタッフ・コンサルタントとしての支援等
<b>コンサルティング事業</b>	活動を通じてご縁を得たNPO・ソーシャルビジネス事業者・中小企業・行政等	<b>ご縁のあるNPO・ソーシャルビジネス等の経営課題を解決する。</b> 具体例: 上記5事業に付随する講演・執筆・相談・コンサルティング、NPO・ソーシャルビジネス等の各種経営課題(経営革新・事業承継・事業再生・M&A・転廃業等)解決支援等

## このようにお役にたちます

※下記は一例です。「多賀にこんなことを頼んでみたい」とお考えの際は、お気軽にご相談ください。

### 各種ご相談

特に NPO・ソーシャルビジネスの資金調達に関する相談、草の根金融やソーシャルファイナンス等に関する各種相談をお受けいたします。お気軽にお申し付けください。心を込めてじっくりとお話をお伺いたうえで、可能な限りのアドバイスをいたします。

### 講演・パネリスト・ファシリテーター

NPO・ソーシャルビジネスの資金調達、ソーシャルファイナンス等に関する講演、シンポジウム等のパネリスト、ワークショップのファシリテーター等をお受けいたします。

テーマ例：「ソーシャルファイナンス入門」「ソーシャルビジネスの資金調達が全部わかる講座」「初心者のための金融入門」「市民債券(または市民ファンド)徹底解説」「社会起業を支える手作りファンディング」等(ご相談ください)

### コンサルティング

コンサルティングといっても上から目線のものではなく、NPO・ソーシャルビジネス、草の根金融事業者等の皆様と同じ目線で伴走しようというものです。資金調達や経営に関する分析・アドバイスにとどまらず、法令の範囲内で、各種企画書作成等のお手伝いもいたします。

### 執筆(雑誌、書籍、報告書等)

NPO・ソーシャルビジネスの資金調達、ソーシャルファイナンス等に関する雑誌の特集や書籍、当分野の新刊に関する書評などについて、執筆をお引き受けします(企画によっては執筆に伴う取材等も承ります)。また、当分野に関する調査報告書等の執筆(論文の代筆を除く)もお引き受けします。

### その他(研究会委員等)

行政や企業等で、NPO・ソーシャルビジネスの資金調達、ソーシャルファイナンス等に関する政策企画・調査研究プロジェクト等をご検討中の場合、これらプロジェクトの委員として会合に出席し、意見を述べ、必要に応じて各種報告を行うことが可能です(企画段階からのお手伝いも承ります)。

## 各種サービス料金の目安

- ※ 以下は財政規模の小さな NPO・ソーシャルビジネス組織からの依頼を想定した料金です(源泉徴収分除く)。企業・各種団体からのご依頼については、割増料金をお願いすることがあります(ご相談ください)。
- ※ サービスに付随する打ち合わせ等につきましては原則として無料です。
- ※ 各種費用(交通費、宿泊費、取材費用等)は原則として別途ご負担願います。
- ※ 別途報酬体系がある場合(行政、大学等)、予算に限りがある場合、ご遠方の場合等は、ご遠慮なくご相談ください。
- ※ 本料金体系は今後変更することがあります。

各種ご相談	1回 20,000 円(1.5 時間~2 時間の面談を想定)
講演・ファシリテーター等	1回 40,000 円(質疑応答を含め 2 時間程度の講演を想定) 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県以外での講演等は付加料金 10,000 円。 長時間・複数回の講演等は、上記を基準に時間・回数等を考えて調整しましょう。
パネリスト	1回 30,000 円(パネルディスカッション登壇で、パネリストからの報告が 20 分程度のもの) 実質的に講演となる場合は、「講演」の料金をいただきます。
コンサルティング(顧問)	月 40,000 円(月 1 回、2 時間程度の面談と電話、メール等による随時サポートを想定) 上記を最低基準とし、拘束時間と業務内容等によって調整しましょう。 財政事情により、一部成功報酬制とすること等も可能です。
執筆	1,500 円/200 字を基準に、内容により調整しましょう。
その他	調査研究・政策プロジェクト等の委員となる場合、1 回の会合出席につき 20,000 円 (プロジェクトの中で講演・報告書執筆等を行う場合、別途料金をいただきます)

# お声掛けください&相談させていただきます

## 草の根金融の事業者・実践者の方

**お手伝いさせていただきます。**

困難が伴いがちな草の根金融の事業を全力でサポートしますので、ともに経営課題を解決し、社会に役立つ金融事業を創造しましょう。また、取材にお伺いすることもあると思いますので、その時はお世話になります。

## NPO・ソーシャルビジネス事業者の方

**お気軽にご相談ください。**

資金調達に関する課題はもとより、資金調達の向こう側にある経営課題も、ともに解決しましょう。また、今後 NPO やソーシャルビジネスが直面すると思われる高度な経営課題(経営革新、事業承継、事業再生、M&A、転廃業等)についても、解決のお手伝いをさせていただければと思います。

## NPO・ソーシャルビジネス(ファイナンス)関係のコンサルティング・中間支援団体の方

**連携のご相談をさせていただきます。**

皆様は当「くさのね」とは同業者とはなりませんが、競合ではなく協働して、ソーシャルビジネスやソーシャルファイナンスに関するコンサルティング市場のパイを広げましょう。また、コンサルティング実務で、資金調達やファイナンス面でのサポートが必要な場合は、特にお役にたてると思います。今後、各団体の皆様に、可能な限りご挨拶に伺いたいと思いますので、ともに何ができるか、ご相談させていただけると幸いです。

## 金融機関・行政・財団等の方

**ソーシャルファイナンスの活用を共に考えましょう。**

金融機関における CSR、行政における地域活性化やセーフティネットの拡充、財団における資金の有効活用など、皆様が抱える課題を解決する上で、ソーシャルファイナンスが有効なツールとなる局面はきっとあると思います。まずは、どのようにソーシャルファイナンスを活用できるか、ともに検討する機会をいただけると幸いです。

## 研究機関・シンクタンクの方

**一緒に勉強しましょう。**

ソーシャルファイナンスは、非常に可能性の大きな研究分野で、日々革新的な取り組みが進んでいます。研究プロジェクト、各種セミナーなど、ともに企画立案し、成果を出しましょう。

## 草の根金融(ソーシャルファイナンス)発展への志をお持ちの方

**共に汗を流しましょう。**

今は報酬を出すことこそ難しいですが、自主セミナーの企画運営等でお力を貸していただくこと等を通じ、ともにソーシャルファイナンスのフロンティアを切り開きましょう。また、特にソーシャルファイナンス分野での起業をお考えの方は、持てる力を振り絞って応援しますので、ともに頑張りましょう。

## 当面の予定

2017年5月28日	「NPOバンクの作り方」セミナー開催予定
2017年6月2、3日	「『グラミン日本』立ち上げに向けて」セミナー開催予定
2017年中	法人化(一般社団法人を想定)、会員制度開始を予定

## ご連絡先

(事務所) 〒104-0061 東京都中央区銀座 8-16-10 中銀本社ビル8F イノベーションオフィス銀座内  
携帯:080-1142-3783 E-mail taga@e-mail.jp

「多賀俊二メールニュース」情報配信中！(登録ご希望の方は上記メールアドレスまで)

多賀俊二ホームページ <http://tagashunji.net/>

facebook ページ <https://www.facebook.com/kusanohne/>

多賀俊二Twitter: @taga\_npobank フォロー歓迎！